

## 1 第六小学校の目指す教育

☆☆六小の子供たちの強み☆☆  
○明るく素直      ○誰とでも仲良く  
○生活規律が身に付いている。  
（気持ちの良いあいさつ）  
○決められたことを実行できる。

【これから子供たちが生きていく社会】  
・2035年問題  
・Society 5.0  
・新型コロナウイルス等、見通しが立たない状況

～今後の社会において求められる力～  
○何が重要であるかを主体的に判断できること  
○多様な人々と協働することができること  
○新たな問題の発見・解決につなげることができること

『次代に生きる子供を育てる』～人間味あふれ、自ら考え、自ら学ぶ子供～

「意志ある学び」を…

**子供たちが、「したい！！」つまり「Will」のある学習、授業、教育活動の実施**

### （1）第六小学校の教育目標

- ◎考える子・・・課題意識をもち、自分から学び、考え、伝え合い、学び合う子
- 助け合う子・・・生命や人権を尊重し、みんなと協力する心豊かな子
- 元気な子・・・未来を切り拓き、世界や社会で活躍する心身ともに元気でたくましい子

### （2）目指す学校像、目指す子供像、期待する教師・大人像

- 目指す学校像 『『ともに生きる』心をもって実践する子供を育てる学校  
～一人一人が自分らしく輝くために～』
  - 明日の登校を楽しみにする子供のあふれる学校
  - 明日の出勤を楽しみにする教職員のあふれる学校
  - 来校することを楽しみにする保護者・地域の方があふれる学校

合い言葉「笑顔かがやく六小の子、みんなで育てる六小の子、  
みんなが育つ第六小学校」

### （3）目指す子供像 『人間味あふれ、自ら考え、自ら学ぶ子供』

「人間味あふれる」

人間としての幅が広いこと。相手の存在を認める、相手の考えを理解しようとすること。

「自ら考える」

まず、自分で考え、判断し、行動し、反省すること。PDCAサイクルを身に付けていること。

## 「自ら学ぶ」

事物や自然、人から学ぶ姿勢をもち、直接体験、間接体験を多く経験すること。

### 感性を磨く

#### (4) 期待する教師・大人像

人間味あふれる子供を育てようとするには、私たちが人間味あふれる教職員として子供の前に立つことが大切です。教職員は専門職として常に研究と修養に努めるとともに、自らも好きなこと、得意なこと、趣味等を通して感性を磨き、次代を生き抜く子供たちの感性を磨いていきます。

## 2 中期経営目標（令和2年度から令和4年度）

### ○インクルーシブ教育の推進

- ①特別支援教室、難聴言語学級教員による理解啓発授業を指導計画内に位置付け、実施する。
- ②ユニバーサルデザインの授業を積極的に導入し児童一人一人のよさを生かし伸ばす。

### 教育のユニバーサルデザイン 3つの柱

**授業**のユニバーサルデザイン化  
児童が学び合う関係づくり

**教室環境**のユニバーサルデザイン化  
落ち着いて過ごし、  
学習活動に集中できる環境づくり

**人的環境**のユニバーサルデザイン化  
学級にいる全員の児童が  
『わかる・できる』授業づくり